

平成 22 年度事業報告書

公益財団法人アジア・アフリカ文化財団

東京都三鷹市新川 5 - 1 4 - 1 6

平成 22 年度 事業報告書

事業の状況

1 アジア・アフリカ図書館事業

(1) 閲覧・貸出し業務

アジア・アフリカ語学院関係者を中心に閲覧業務を行った。

(2) 蔵書の整理、登録ならびに新規購入

新規購入としてアジア・アフリカ諸国の辞書、食文化、中国語と韓国語による日本文化、歴史に関する書籍等を購入した。また、大学の紀要などの寄贈も受付けた。

(3) 講演会の実施

「アジア・アフリカを知る集い」(第 16 回～第 18 回)を開催した。

第 16 回 『アジア・アフリカの言語を学ぶ』(講演者：西江雅之)

平成 22 年 5 月 22 日 参加者数：24 名

第 17 回 『雲南から日本が見える』(講演者：欠端實) (社)中日文化研究所との共催

平成 22 年 7 月 10 日 参加者数：23 名

第 18 回 『新しい言語の誕生』(講演者：西江雅之)

平成 22 年 11 月 20 日 参加者数：27 名

(4) 三鷹ネットワーク大学における寄付講座の実施

本講座は東京女子大学との共催で『韓国文化の不思議な深さに触れよう』と題した全 5 回の連続講座を開講した。開催の概要は以下の通り。

日 程：平成 23 年 2 月～同 3 月、各回とも土曜日・15:00-16:30

講 師：兼若逸之(かねわか・としゆき) 東京女子大学現代教養学部教授

(5) その他

前年度に引き続き、中国北京にある郭沫若記念館から副館長 李 焼虹 氏と同じく副館長 趙 笑潔 氏が来館(平成 22 年 12 月 7 日)、沫若文庫の所蔵品を調査した。両氏とは、郭沫若記念館と当館との今後の協力関係の構築についても意見交換を行った。

新たな閲覧・貸出体制を整備するために図書管理システムの導入を検討、次年度の実施を前提として導入システムを決定した。

2 アジア・アフリカ語学院事業

(1) 専門課程

実施学科および入学・卒業生徒数

a) アジア系語学科

アラビア語学科 1 年課程及び同 2 年課程を実施した。卒業生の進路はいずれも留学を予定。

学 科 名	在籍学生数			卒業生数
	1 年	2 年	計	
アラビア語学科(1 年)	1		1	1
アラビア語学科(2 年)	0	1	1	1
計	1	1	2	2

なお、中国語学科（1年課程）、インド語学科（1、2年課程）の在籍者はいなかった。

b) 日本語教育

日本語学科では平成21年10月入学「進学1.5年コース（43期）」、同22年4月入学「進学1年コース（44期）」、同22年10月入学「進学1.5年コース（45期）」を実施した。進学実績は、大学院5名、大学・短大8名、専門学校22名。

学 科	在籍学生数				卒業生数
	43期	44期	45期	計	
日本語学科 進学1年コース	/	47	/	47	61
日本語学科 進学1.5年コース	40	/	33	73	

日本語学科の在籍学生数は入学者数

その他

a) 日本語学科自由選択科目の実施

日本語学科では前年度に引き続き学生の多様なニーズに合わせた選択制のカリキュラムを実施した（選択必修科目5科目、自由選択科目26科目）。

b) 日本語学科同窓会を台湾で開催

平成22年7月、台湾・台北にて同窓会を開催。卒業生20数名が参加、日本からは日本語学科の教員4名が出席した。

(2) 生涯教育・委託研修

生涯教育

一般社会人向けの生涯教育部門では、土曜コース（別科速成科昼間クラス）の他、少人数のニーズに応える特別講座や短期講座を実施した。また、三鷹ネットワーク大学において、アジア・アフリカ文化財団の企画講座を実施した。

a) 別 科

〔初級〕

言 語	在籍学生数				修了生数 (初級修了)
	入門	初級1	初級2	初級3	
速成科中国語	5	5	/	/	/
速成科アラビア語	10	2	3	2	2
計	15	7	3	2	2

〔中級〕

言 語	在籍学生数	
	中級1	中級2
速成科アラビア語	2	2
計	2	2

〔上級〕

言 語	在籍学生数					
	上級1	上級2	上級3	上級4	上級5	上級6
速成科アラビア語	6	3	7	7	3	3
速成科ヒンディー語	/	/	/	/	5	5
速成科韓国語	/	/	/	/	4	4
計	6	3	7	7	12	12

言語	在籍学生数					
	上級7	上級8	上級9	上級10	上級11	上級12
速成科ヒンディー語	3		3	3	3	3
速成科韓国語	5	5				
速成科タイ語	4	3	3			
計	12	8	6	3	3	3

b) 特別講座

講座	受講生数
アラビア語講読講座（講座5～8）	延 15
韓国語初級1（ ）	12
プライベートレッスン（アラビア語他）	3

三鷹国際交流協会で行われた韓国語講座の修了者をおもな対象とした既習者向けの連続講義。

c) 三鷹ネットワーク大学における企画講座

初学者を対象にした平日昼間の短期語学講座を企画、開催した。実績は以下の通り。

中国語入門（平成22年11～同12月、水曜日、午後1時～4時、全4回） 3名

韓国語入門（平成22年11～同12月、火曜日、午後1時～4時、全4回） 3名

アラビア語講座は定員に満たなかったため開講しなかった。

委託研修

官公庁からの委託研修生を対象としたクラスを中心に、アジア・アフリカ語の委託研修を例年通り行った。

警察大学校国際警察センター 3件

公安調査庁研修所 1件 以上4件を実施。

また、宮城県人事委員会より同県職員採用試験（中国語）の作成業務等を受託し、第1次筆記試験の作成・採点と第2次面接試験での試験官を派遣した。

(3) 対外活動

三鷹国際交流フェスティバル

三鷹国際交流協会が主催する「三鷹国際交流フェスティバル」に参加。テントショップにアジア・アフリカ語学院のブースを出展した。（平成22年10月）

上級学校訪問（見学）の受入れ

近隣の公立中学校が行う「上級学校訪問」の受入れを行った。

来校した中学校： 立川市立第一中学校（平成22年10月）

多摩市立鶴牧一中学校（平成22年11月）

三鷹市中原小学校との交流活動

三鷹市立中原小学校4年生の「総合的な学習の時間」の国際交流を体験する授業に日本語学科留学生が招かれた。互いの国の紹介やゲーム、日本の伝統文化の体験を通して交流を深めた。（平成22年9月）

留学フェアへの参加

日本学生支援機構主催の「日本留学フェア」に参加。語学院の広報活動を行った。参加地域と時期は以下の通り。

台湾（台北、高雄） 平成22年7月

韓国（ソウル、プサン） 平成22年9月

3 交流支援事業

(1) 外国人研修生教育

平成 21 年 10 月に受け入れた研修生（ベトナム人 1 名）の研修期間が平成 22 年 9 月末で終了、引き続き技能実習に移行した。受入れ企業は研修時と同様に株式会社文伸。なお、入管法改正による研修・技能実習の新制度施行に伴い手続きを行った有料職業紹介事業の申請は予定通り平成 22 年 6 月に許可された。

(2) 外国人子弟教育

三鷹市内在住の外国人子弟 2 名（学齢：中学校 2 年生 1 名、同 3 年生 1 名。うち 1 名は昨年度も受講）に対して、夏休み期間を利用した「外国人児童生徒日本語教育支援プログラム」を実施した。（平成 22 年 8 月）

生徒は市内の中学校に在籍。それぞれのニーズ（日本語のブラッシュアップ、教科の補習等）に合わせて教育を実施。指導は語学院日本語学科の講師が行った。なお、広報面では昨年度に引き続き三鷹市教育委員会の協力を得た。

(3) 外国人学生宿舍運営

アジア・アフリカ語学院に在籍する留学生の宿舍として当財団所有施設「有朋館（ゆうほうかん）」を運営（平成 20 年 4 月開館）。平成 22 年度の延べ入居者数は 46 名。

このほか、(社)中日文化研究所の研修センター「青雲公寓（せいいうんこうぐう）」や、UR 都市機構の賃貸住宅、民間アパートを借り上げ、学生寮として利用した。これらの平成 22 年度の実績は、契約部屋数 14 部屋、延入室者数 62 名。

(4) 交流促進活動

国外における日本語教育普及活動の一環として、日本語教育を行っている国外の教育機関にアジア・アフリカ語学院日本語学科の教員を派遣し、現地担当教員との交流、研修活動を行った。平成 22 年度の実施状況は以下の通り。

実施時期と派遣先	平成 22 年 5 月	黄冈師範学院（中国・湖北省）
	平成 22 年 12 月	常州工学院（中国・江蘇省）
派遣教員	長谷川公江（日本語学科教務主任）	

4 翻訳事業

法人や個人からの依頼を受けて、年間 40 件の翻訳案件を処理した。また、警察庁からウェブサイトのモニタリング及び外国語翻訳業務を請け負った（平成 22 年 4 月～同 23 年 3 月）。なお、翻訳者登録数は、年度末現在 125 名。

5 その他

(1) 会員の状況

年度末現在 1 社。

(2) 公益法人制度改革への対応

平成 22 年 7 月に公益財団法人への移行認定申請を行い、平成 23 年 3 月に内閣府公益認定等委員会より移行認定を得た。

庶務の概要

1 役員に関する事項

役職名	氏名	就任年月日	備考
理事	菊地 弘	平成21年6月30日	アジア・アフリカ文化財団理事長
理事	篠原 昭雄	同	アジア・アフリカ文化財団専務理事
理事	木村 実季	同	アジア・アフリカ文化財団常務理事
理事	西江 雅之	同	アジア・アフリカ図書館長
理事	堀中 浩	同	(社)中日文化研究所所長
理事	小山 晃	同	オーケー フィッシャリーズ社長
理事	西崎 哲郎	同	KFi 株式会社社長
理事	中江 利忠	同	元朝日新聞社社長
理事	小倉 正雄	同	元(株)立川都市センター代表取締役常務
理事	黒柳 恒男	同	東京外国語大学名誉教授
監事	永井 和雄	同	元東洋建設株式会社常任監査役
監事	山本 忠雄	同	山本会計事務所所長

2 職員に関する事項

	平成21年度			平成22年度		
	男子	女子	計	男子	女子	計
事務職員(財団)		1名	1名		1名	1名
(図書館)					1名	1名
(語学院)	4名	1名	5名	5名	1名	6名
専任教員(語学院)		2名	2名		2名	2名
計	4名	4名	8名	5名	5名	10名

職員を兼務する常勤役員を除いている。

以上